

新たな可能性をプラスし、輝く未来へ。



2024年3月期 第2四半期 決算説明会 (2023年11月8日)

代表取締役 社長執行役員 小林 和也

社長就任のあいさつ（自己紹介）

- 1989年 入社
東京工場製造部に4年間勤務
- 1993年 溶射技術開発研究所
- 2004年 明石工場
大型FPD生産工場の立上げ
- 2009年 北九州工場 製造次長 / 2014年 工場長
海外半導体装置メーカーとのビジネス立上げ
- 2018年 明石工場長
- 2021年 常務執行役員 製造本部長
- 2023年 代表取締役 社長執行役員

社長就任のあいさつ

引き続き中期経営計画を積極的に推進します。

● 安全を最優先

- ・安全に働ける職場づくり（JISQ45100の取得）
- ・綺麗で、機能的で、人にやさしい職場づくり

● 真摯な物づくり

- ・作業手順を遵守し、顧客の品質基準を満足する
- ・作業者一人ひとりが責任感を持って作業する

● 徹底的な生産効率の向上

- ・より一層の溶射効率の改善を図る
- ・生産システムを自動化して生産効率を高める

本日の内容

1. 第2四半期連結決算の概要
2. 2024年3月期 連結業績予想
3. 中期経営計画の進捗状況

1. 第2四半期連結決算の概要

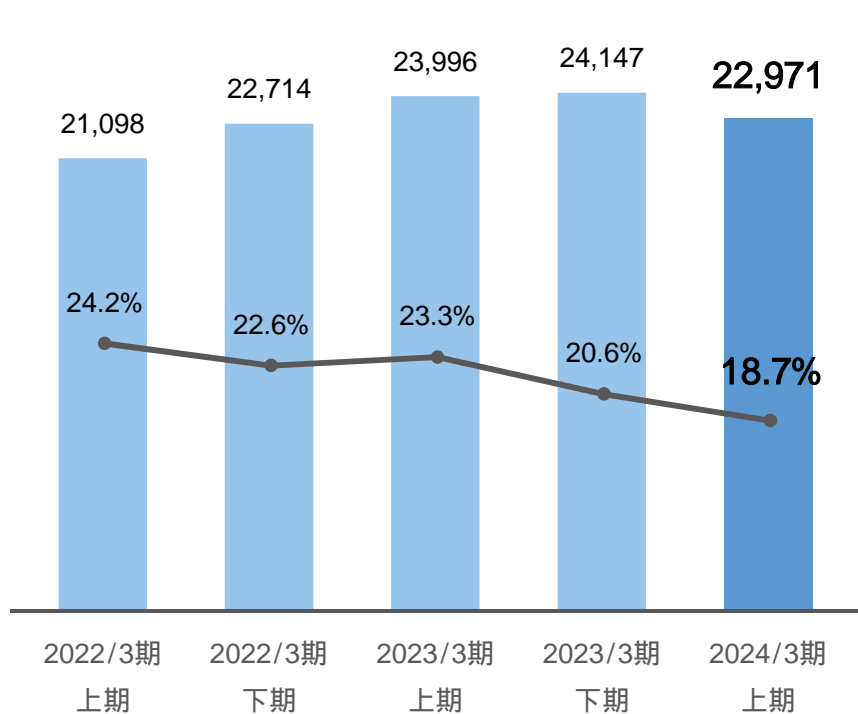
第2四半期連結決算 ハイライト

POINT 前年後半からの半導体分野の落ち込みにより、9半期ぶりの減収

売上高

前半期比
-4.9%

■ 売上高(百万円)
● 営業利益率

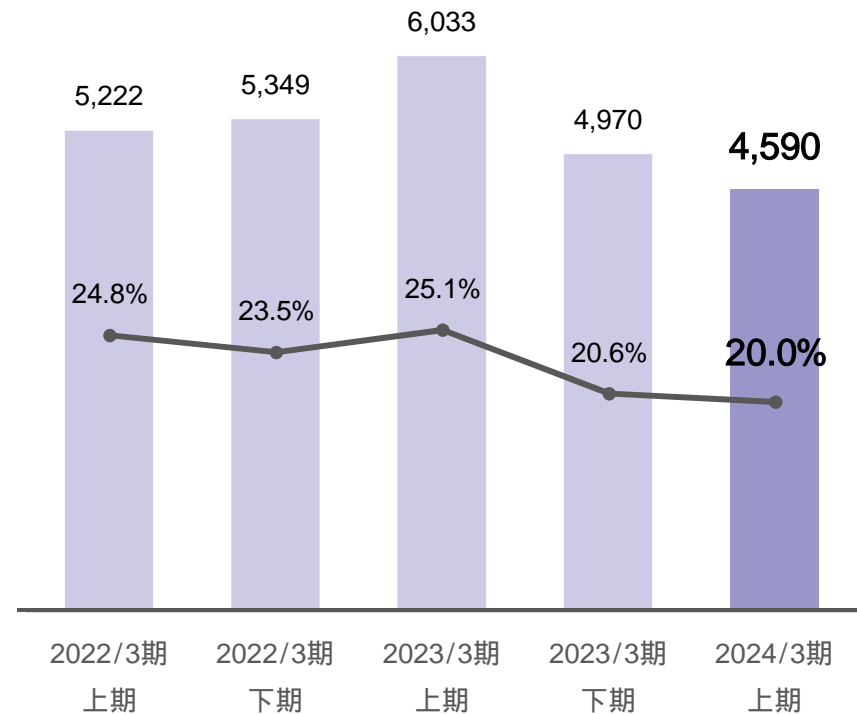


POINT 経常利益は前半期比7.6%減となるも、期初予想を上回る

経常利益

前半期比
-7.6%

■ 経常利益(百万円)
● 経常利益率



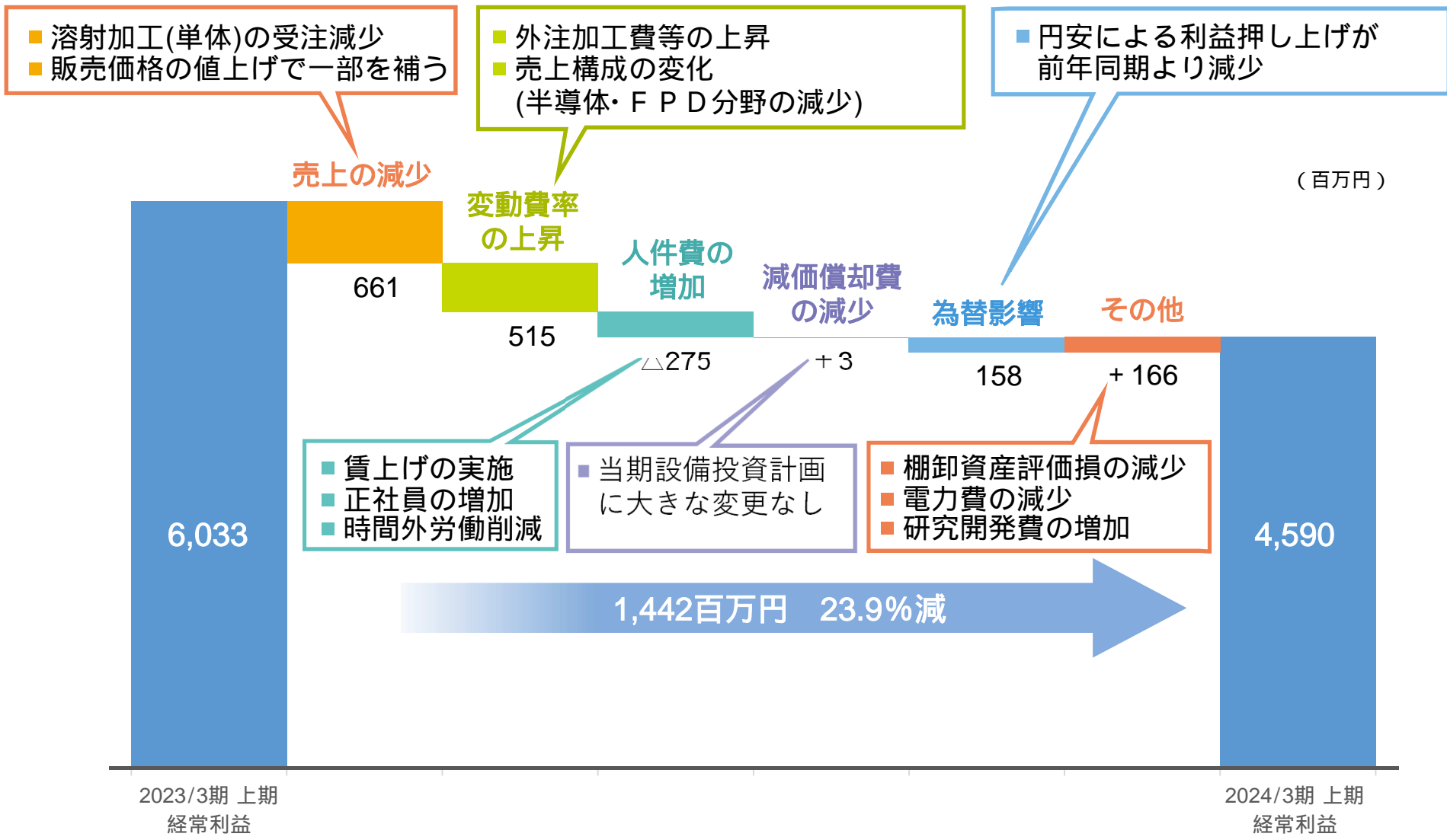
2024年3月期 第2四半期連結決算の概要

半導体分野が非常に好調であった前年上期に対して、

- 売上高は、半導体市場の調整局面入りで、前年同期比4.3%減
- 経常利益は、売上構成の変化や人件費・研究開発費などの増加により、同23.9%減

(百万円)	2023/3期 上期		2024/3期 上期		前年同期比増減	
	実績	構成比	実績	構成比	金額	率
売上高	23,996	100.0%	22,971	100.0%	1,025	-4.3%
営業利益	5,581	23.3%	4,295	18.7%	1,285	-23.0%
経常利益	6,033	25.1%	4,590	20.0%	1,442	-23.9%
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,919	16.3%	2,985	13.0%	933	-23.8%
1株当たり四半期純利益 (EPS)	64.45円	—	49.42円	—	15.03円	—

前年同期比 経常利益 増減要因分析



2024年3月期 第2四半期売上高 (分野別)

- 半導体・F P D分野の落ち込みにより、最大セグメントの溶射加工(単体)が減収
- 農業機械部品向けが増加したその他表面処理加工をはじめ、他のセグメントは好調に推移

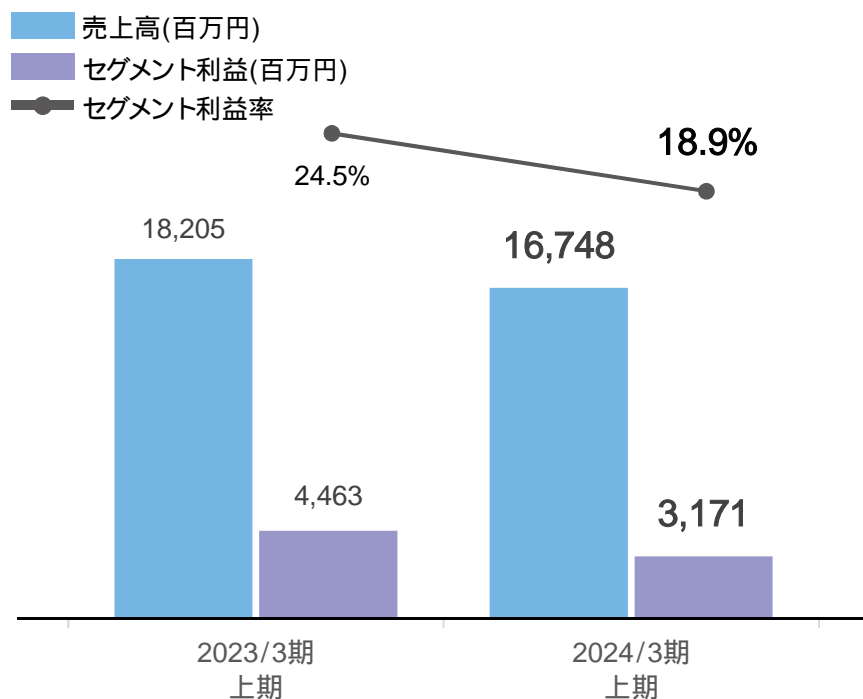
(百万円)	2023/3期 上期		2024/3期 上期		前年同期比増減	
	実績	構成比	実績	構成比	金額	率
売上高	23,996	100.0%	22,971	100.0%	1,025	-4.3%
溶射加工(単体)	18,205	75.9%	16,748	72.9%	1,456	-8.0%
半導体・F P D	12,100	50.4%	9,737	42.4%	2,363	-19.5%
産業機械	1,739	7.2%	2,224	9.7%	485	27.9%
鉄鋼	1,775	7.4%	1,746	7.6%	29	-1.6%
その他	2,588	10.9%	3,039	13.2%	450	17.4%
その他表面処理加工	1,367	5.6%	1,515	6.6%	148	10.8%
国内子会社	1,197	5.0%	1,230	5.4%	32	2.8%
海外子会社	3,140	13.1%	3,422	14.9%	282	9.0%
受取ロイヤリティー等	86	0.4%	54	0.2%	32	-37.3%

第2四半期連結決算 セグメント別

溶射加工(単体)

産業機械およびその他分野は好調に推移するも、
半導体・FPD分野の落ち込みにより、減収減益

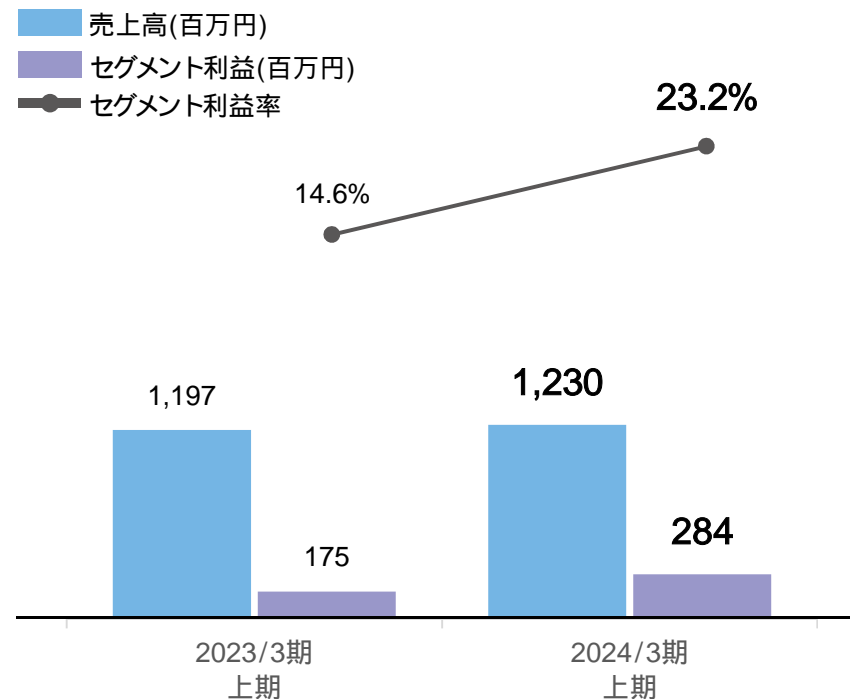
前年同期比増減率	売上高	8.0%
	セグメント利益 ...	28.9%



国内子会社

自動車生産の改善で切削工具関係の受注が
回復基調となり、増収増益

前年同期比増減率	売上高	+2.8%
	セグメント利益 ...	+62.6%

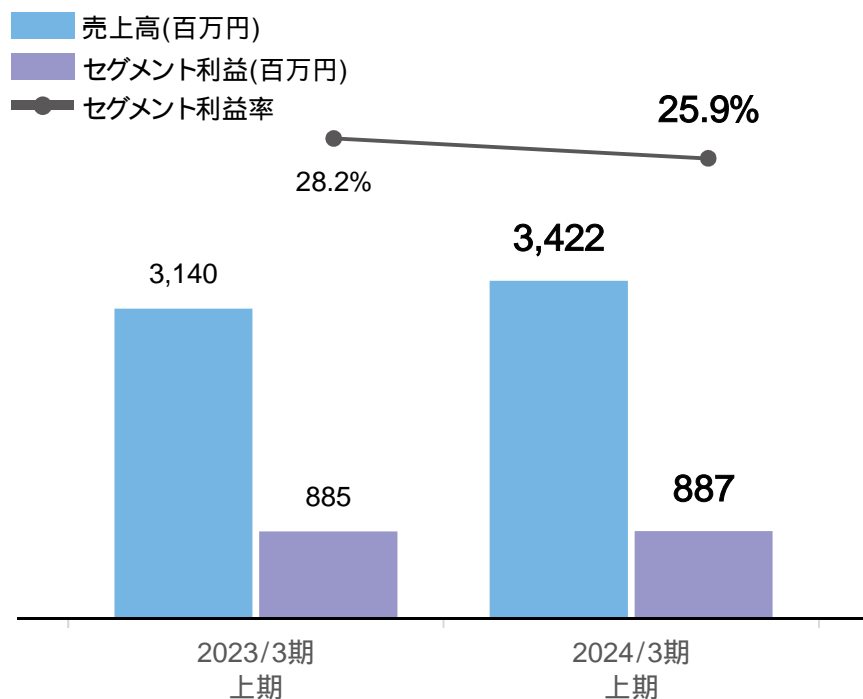


第2四半期連結決算 セグメント別

海外子会社

半導体関連の売上伸び悩みで採算性低下するも、円安の影響が加わり、増収増益

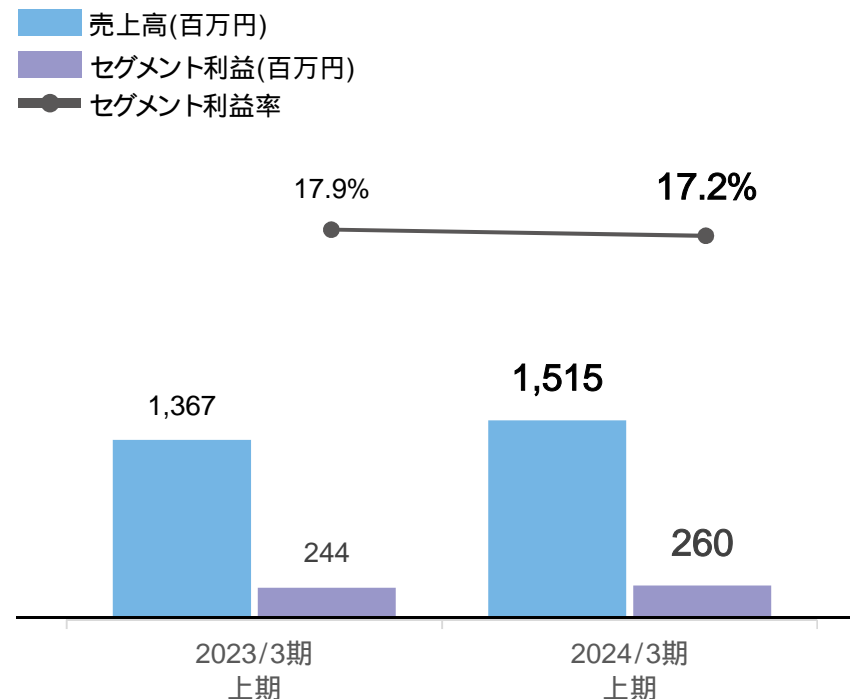
前年同期比増減率	売上高	+9.0%
	セグメント利益	+0.3%



その他表面処理加工

農業機械部品向けの受注が増加し、増収増益

前年同期比増減率	売上高	+10.8%
	セグメント利益	+6.5%



セグメント情報

- 溶射加工(単体) は、半導体分野の売上減少により利益が大幅減
- 国内子会社は、主力の切削工具関係の受注回復により利益伸長
- 海外子会社は、半導体関連の売上伸び悩みで採算性低下するも、円安の影響が加わり利益維持

(百万円)	2023/3期 上期		2024/3期 上期		前年同期比増減			
	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	売上高		セグメント利益	
					金額	率	金額	率
溶射加工(単体)	18,205	4,463	16,748	3,171	1,456	-8.0%	1,292	-28.9%
国内子会社	1,197	175	1,230	284	32	2.8%	109	62.6%
海外子会社	3,140	885	3,422	887	282	9.0%	2	0.3%
その他表面処理加工	1,367	244	1,515	260	148	10.8%	15	6.5%
合 計	23,909	5,768	22,917	4,604	992	-4.2%	1,164	-20.2%

(注) 売上高のうち「受取ロイヤリティー等」は含まれておりません。

財政状態

- 総資産は、前期末比9億62百万円の増加（有形固定資産の増加13億95百万円）
- 自己資本比率は、前期末比0.5ポイント低下の72.0%
- 有利子負債は、前期末比4億44百万円の減少

(百万円)	2023/3期		2024/3期
	2Q末	4Q末	2Q末
総資産	72,454	74,263	75,226
自己資本	52,170	53,839	54,186
自己資本比率	72.0%	72.5%	72.0%
有利子負債残高	3,526	2,802	2,358

キャッシュ・フローの状況

- 当期のフリーキャッシュ・フロー（営業CF + 投資CF）は+31億円
- 投資CF / 有形固定資産の取得 前期： 9億円 当期： 16億円
- 財務CF / 配当金の支払額 前期： 15億円 当期： 16億円
自己株式の取得 前期： 当期： 14億円

（百万円）	2023/3期 上期	2024/3期 上期
営業キャッシュ・フロー	5,005	4,422
投資キャッシュ・フロー	1,353	1,294
財務キャッシュ・フロー	2,430	3,803
現金及び現金同等物の期末残高	20,650	18,995

2. 2024年3月期 連結業績予想

売上高と経常利益の見通し

【2023年5月10日発表の業績予想から変更なし】

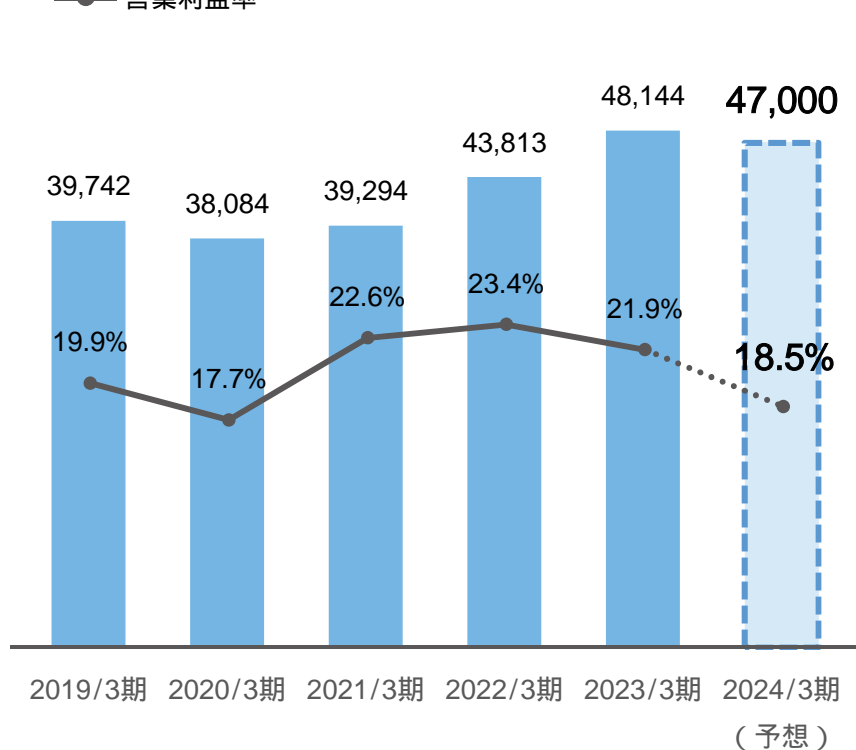
POINT 半導体分野の落ち込みにより、4期ぶりの減収となる見込み

POINT 経常利益は前期比20.9%減と大きく減少する見通し

売上高

前期比
-2.4%

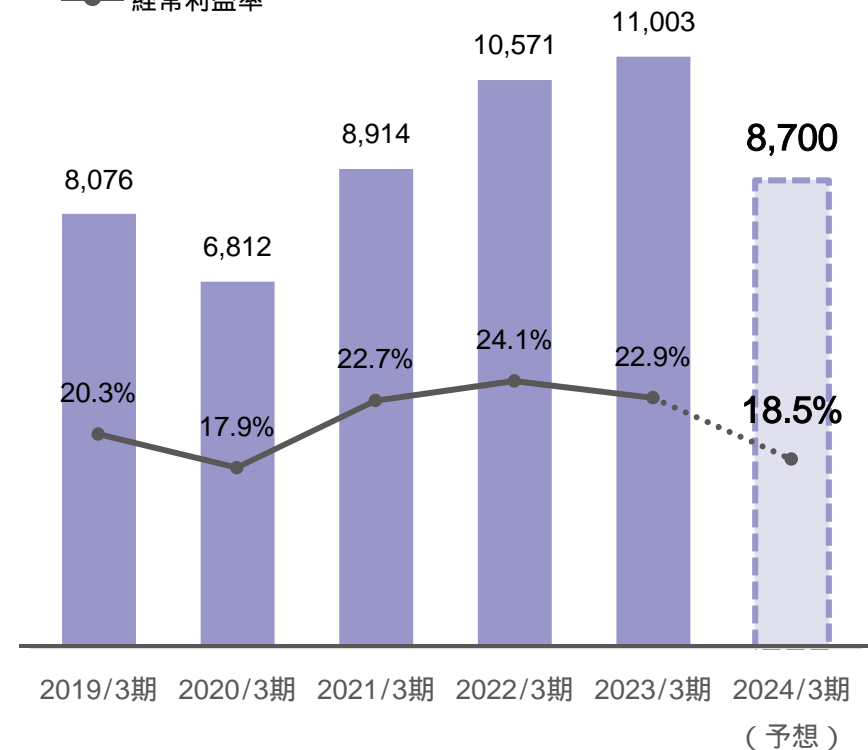
■ 売上高(百万円)
● 営業利益率



経常利益

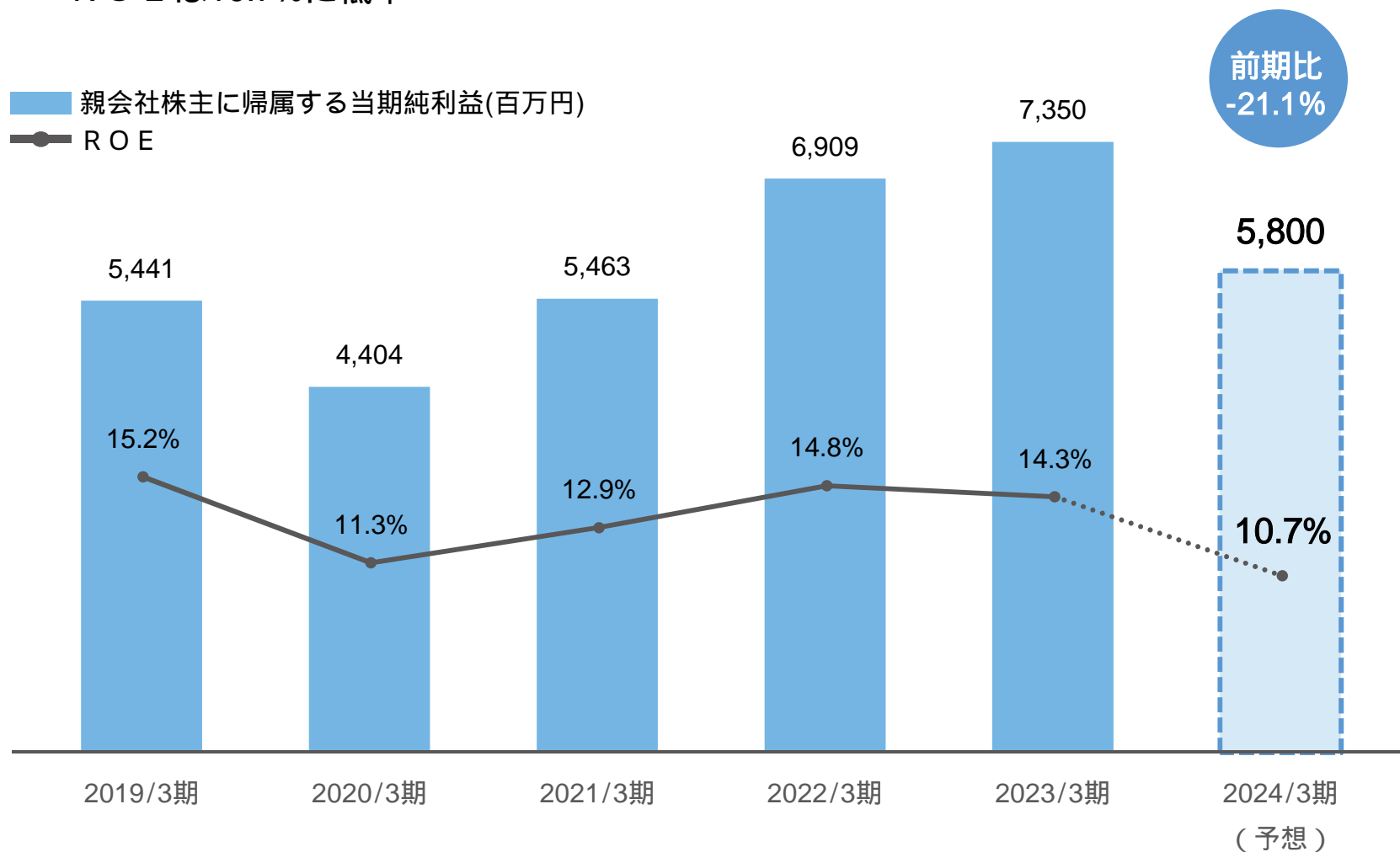
前期比
-20.9%

■ 経常利益(百万円)
● 経常利益率



親会社株主に帰属する当期純利益と R O E の見通し

POINT 親会社株主に帰属する当期純利益は前期比21.1%減
R O E は10.7%に低下



2024年3月期 連結業績予想

(百万円)	2023/3期 通期		2024/3期 通期		前期実績比増減	
	実績	構成比	予想	構成比	金額	率
売上高	48,144	100.0%	47,000	100.0%	1,144	-2.4%
溶射加工(単体)	36,184	75.2%	34,063	72.5%	2,121	-5.9%
半導体・F P D	23,260	48.3%	20,700	44.0%	2,560	-11.0%
産業機械	3,802	7.9%	3,956	8.4%	154	4.1%
鉄鋼	3,582	7.4%	3,734	7.9%	151	4.2%
その他	5,539	11.6%	5,672	12.2%	133	2.4%
その他表面処理加工	2,745	5.6%	2,877	6.1%	131	4.8%
国内子会社	2,414	5.0%	2,656	5.7%	241	10.0%
海外子会社	6,622	13.8%	7,254	15.4%	631	9.5%
受取ロイヤリティー等	177	0.4%	150	0.3%	27	-15.5%
営業利益	10,558	21.9%	8,700	18.5%	1,858	-17.6%
経常利益	11,003	22.9%	8,700	18.5%	2,303	-20.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	7,350	15.3%	5,800	12.3%	1,550	-21.1%
1株当たり当期純利益 (EPS)	120.83円	—	96.70円	—	24.13円	—
自己資本利益率 (ROE)	14.3%	—	10.7%	—	-3.6pt	—

2024年3月期 第2四半期 進捗率

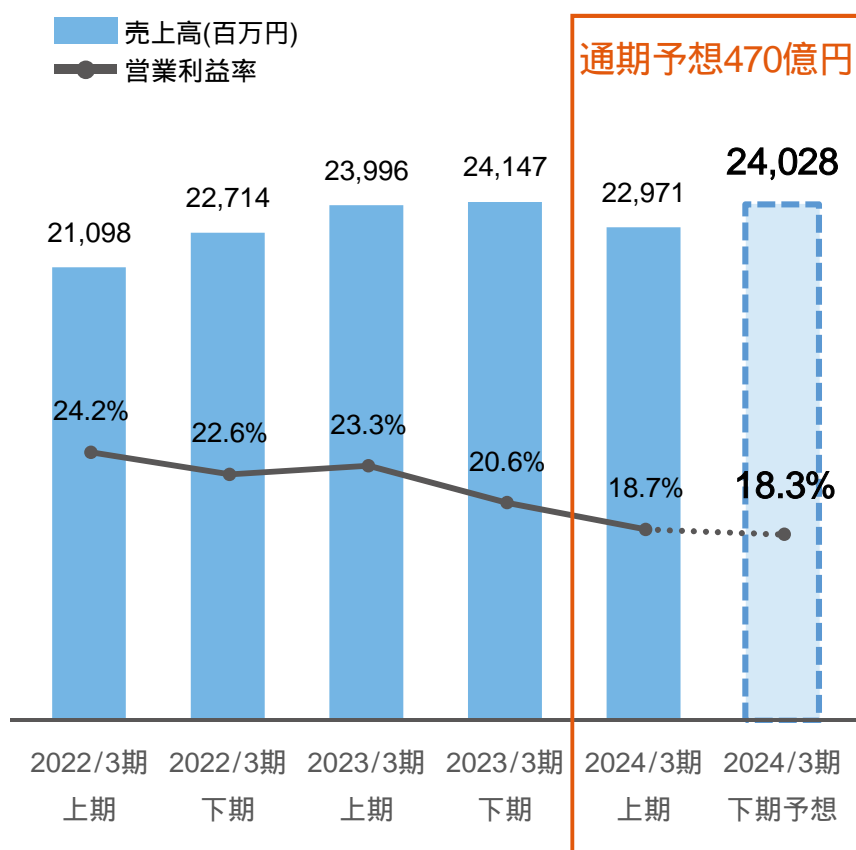
(百万円)	2024/3期 上期		2024/3期 通期		上期実績 進捗率
	実績	構成比	予想	構成比	
売上高	22,971	100.0%	47,000	100.0%	48.9%
溶射加工(単体)	16,748	72.9%	34,063	72.5%	49.2%
半導体・FPD	9,737	42.4%	20,700	44.0%	47.0%
産業機械	2,224	9.7%	3,956	8.4%	56.2%
鉄鋼	1,746	7.6%	3,734	7.9%	46.8%
その他	3,039	13.2%	5,672	12.2%	53.6%
その他表面処理加工	1,515	6.6%	2,877	6.1%	52.7%
国内子会社	1,230	5.4%	2,656	5.7%	46.3%
海外子会社	3,422	14.9%	7,254	15.4%	47.2%
受取ロイヤリティー等	54	0.2%	150	0.3%	36.3%
営業利益	4,295	18.7%	8,700	18.5%	49.4%
経常利益	4,590	20.0%	8,700	18.5%	52.8%
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益	2,985	13.0%	5,800	12.3%	51.5%
1株当たり当期(四半期)純利益 (EPS)	49.42円	—	96.70円	—	51.1%

2024年3月期 下期予想

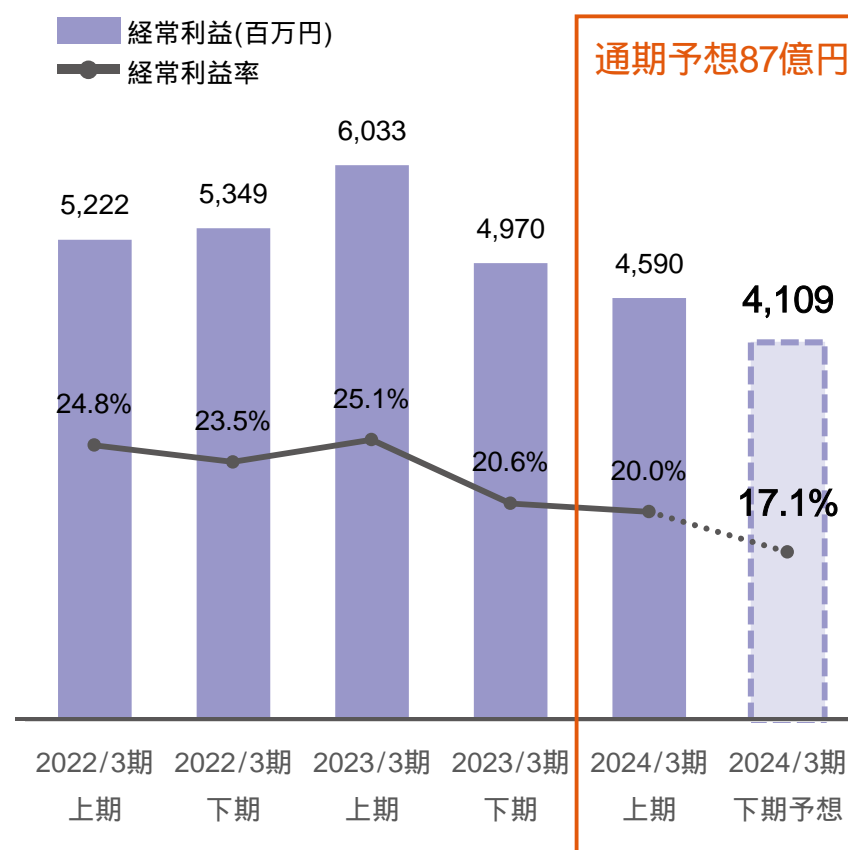
POINT 通期予想470億円を据え置くが、
まだ半導体分野の回復は見通せず

POINT 経常利益は、通期予想87億円に向け
おおむね順調

売上高

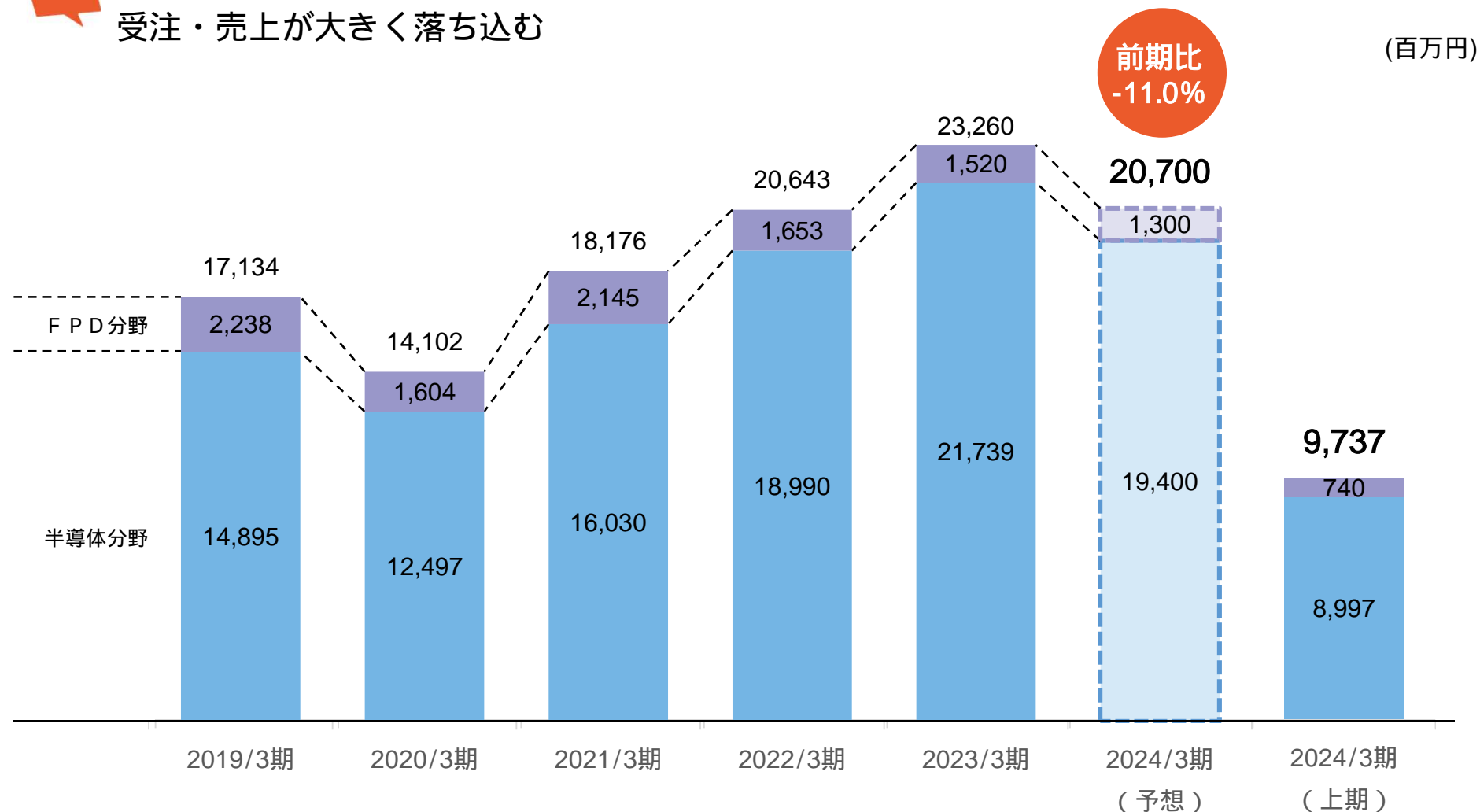


経常利益



半導体・FPD分野の売上推移

POINT 半導体業界が、昨年度後半から一時的な調整局面に入った影響で、
受注・売上が大きく落ち込む



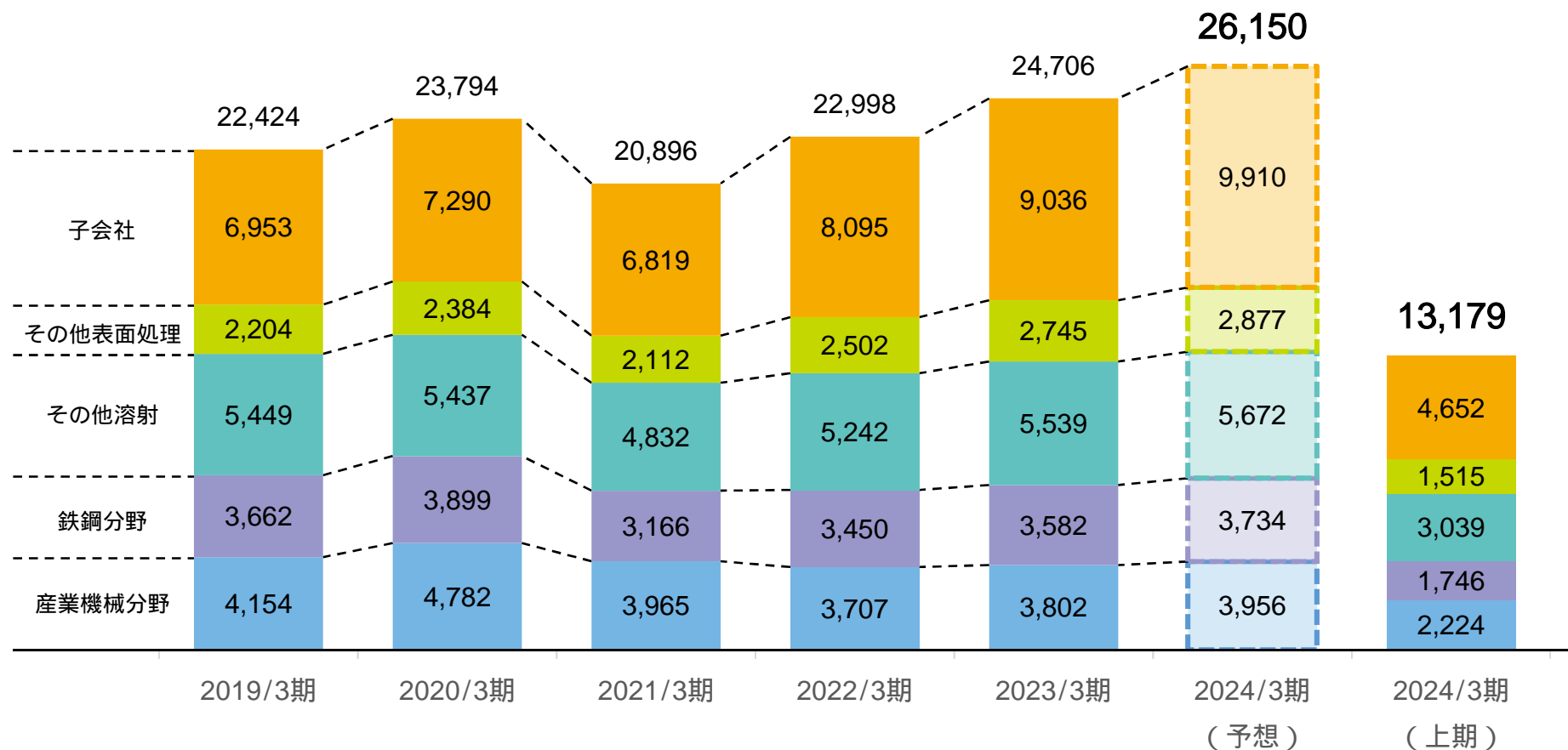
半導体・F P D分野以外の売上推移



産業機械分野、鉄鋼分野、子会社など、半導体・F P D分野以外のすべてのカテゴリで増収を見込む

前期比
+5.8%

(百万円)



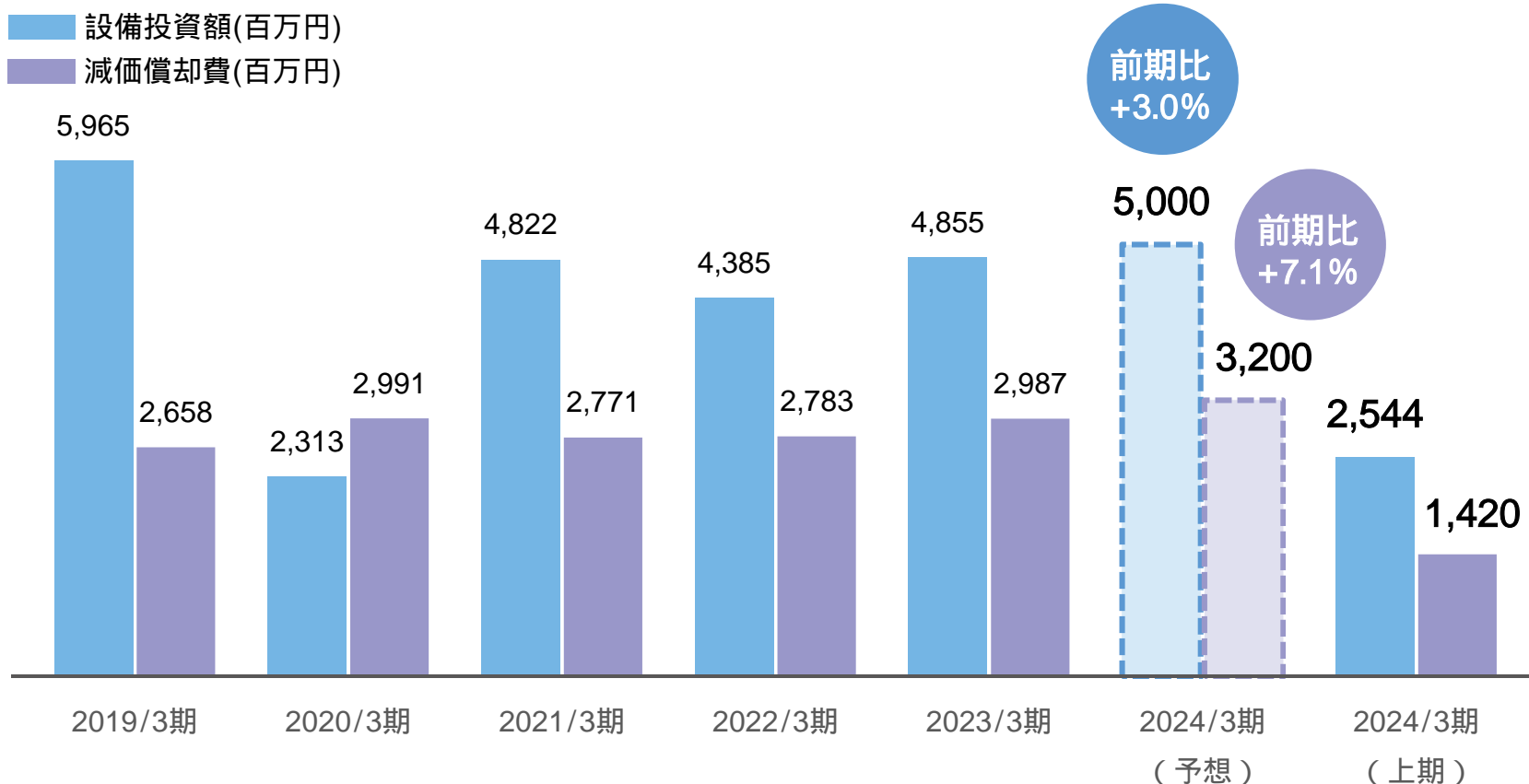
(注) 売上高のうち「受取ロイヤリティー等」は含まれておりません。

設備投資額と減価償却費

POINT

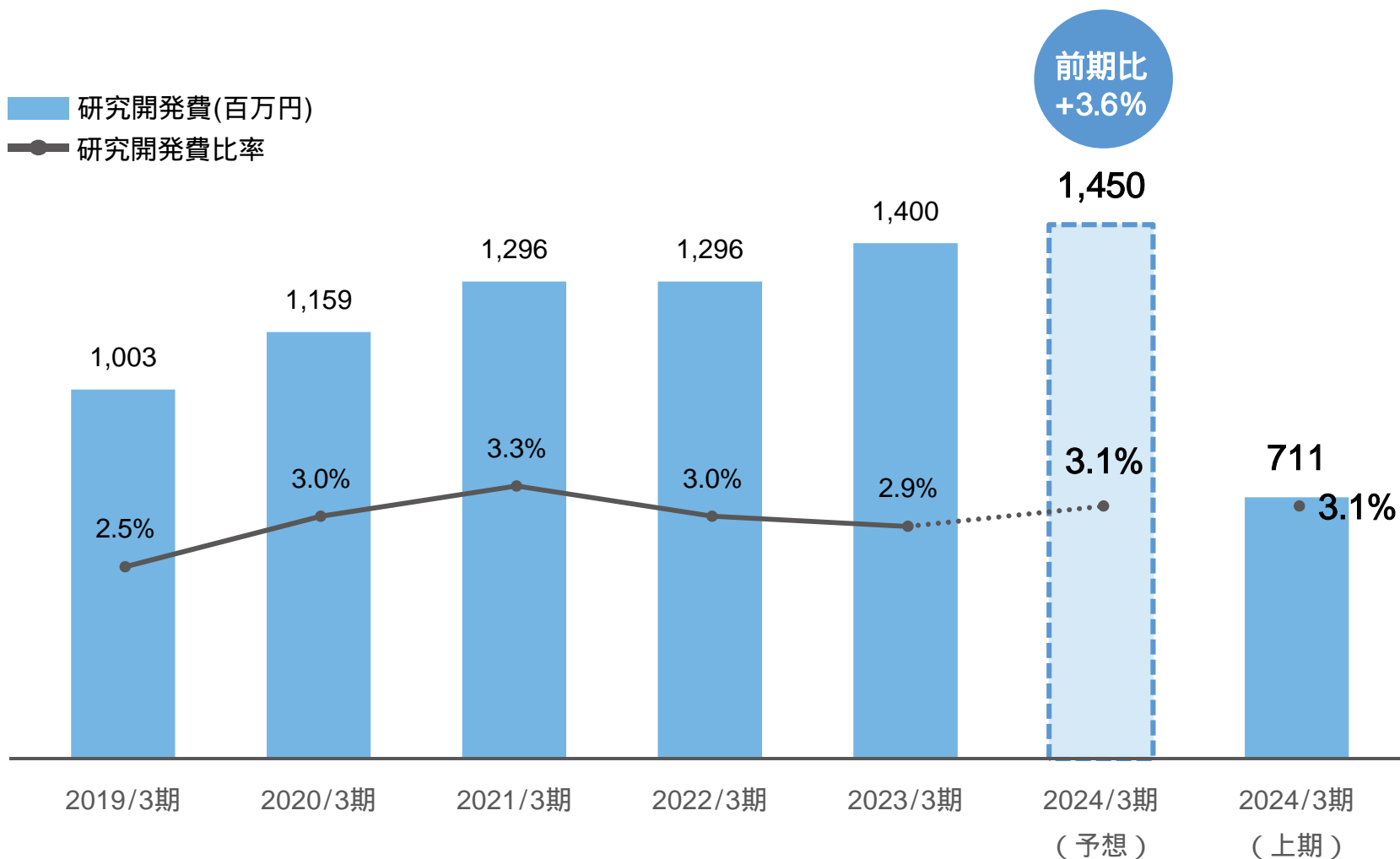
2024年3月期の設備投資予定額 50億円

- トーカロ 26億円：東京・明石・北九州工場を中心に、生産体制の強化・効率化など
- 国内子会社 3億円：生産能力増強など
- 海外子会社 21億円：漢泰国際電子(台湾)での新工場建設ほか



研究開発費

POINT 研究開発費は連結売上高比で3%程度を維持



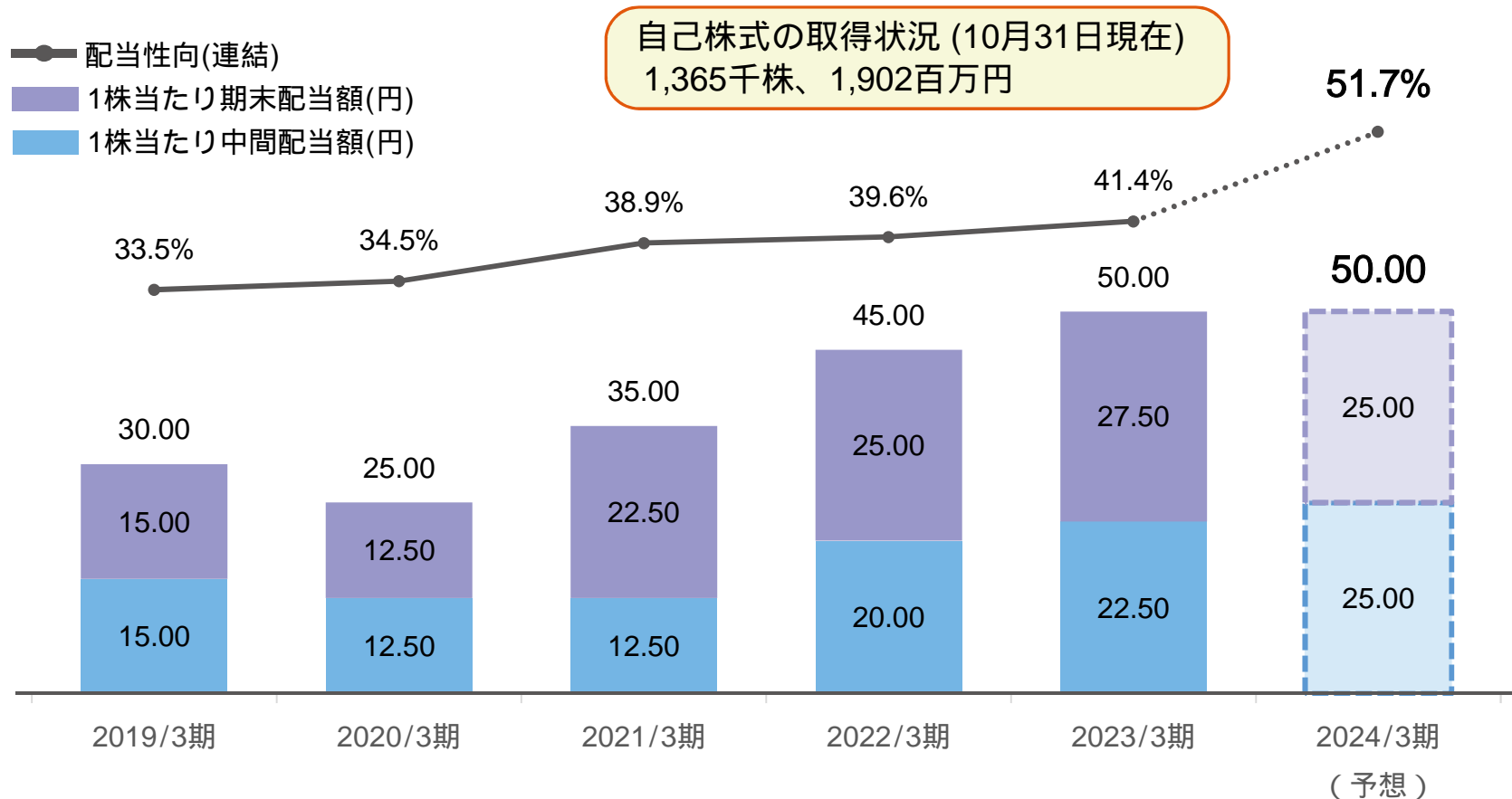
1株当たり配当額と配当性向の推移



2024年3月期の年間配当は50円 (配当性向51.7%) を予定

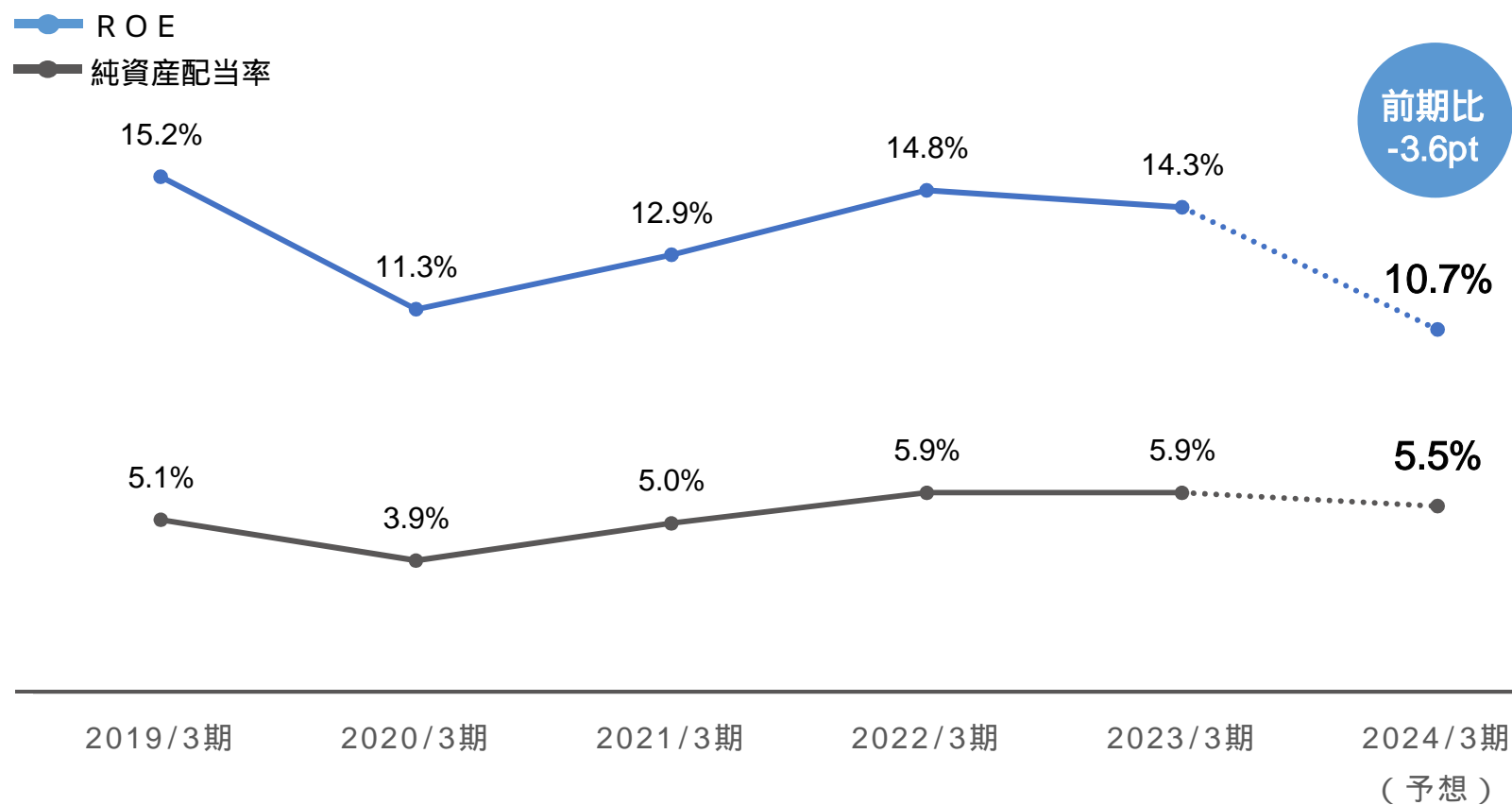
株主還元方針

- 株主還元をさらに充実させるべく、配当性向50%程度を目指す
- 自己株式の取得・消却も、事業環境や財務状況などを考慮して適時適切に実施



ROEと純資産配当率の推移

POINT ROE は10.7%に低下するも、純資産配当率は5%以上を維持



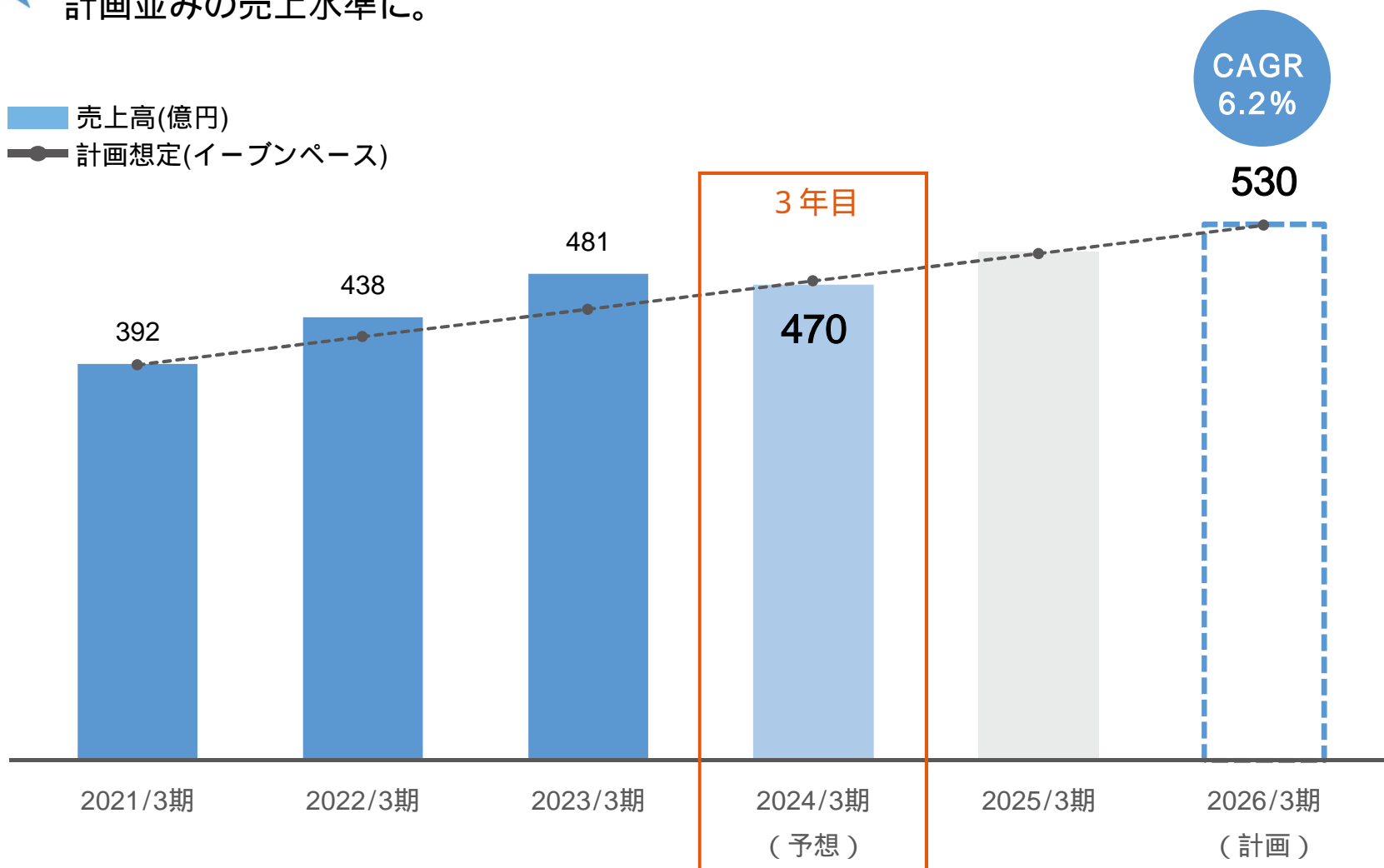
ROE (自己資本利益率) = 当期純利益 / 期中平均自己資本

純資産配当率 = 1株当たり配当金 / 期中平均1株当たり純資産 (= ROE × 配当性向)

3. 中期経営計画の進捗状況

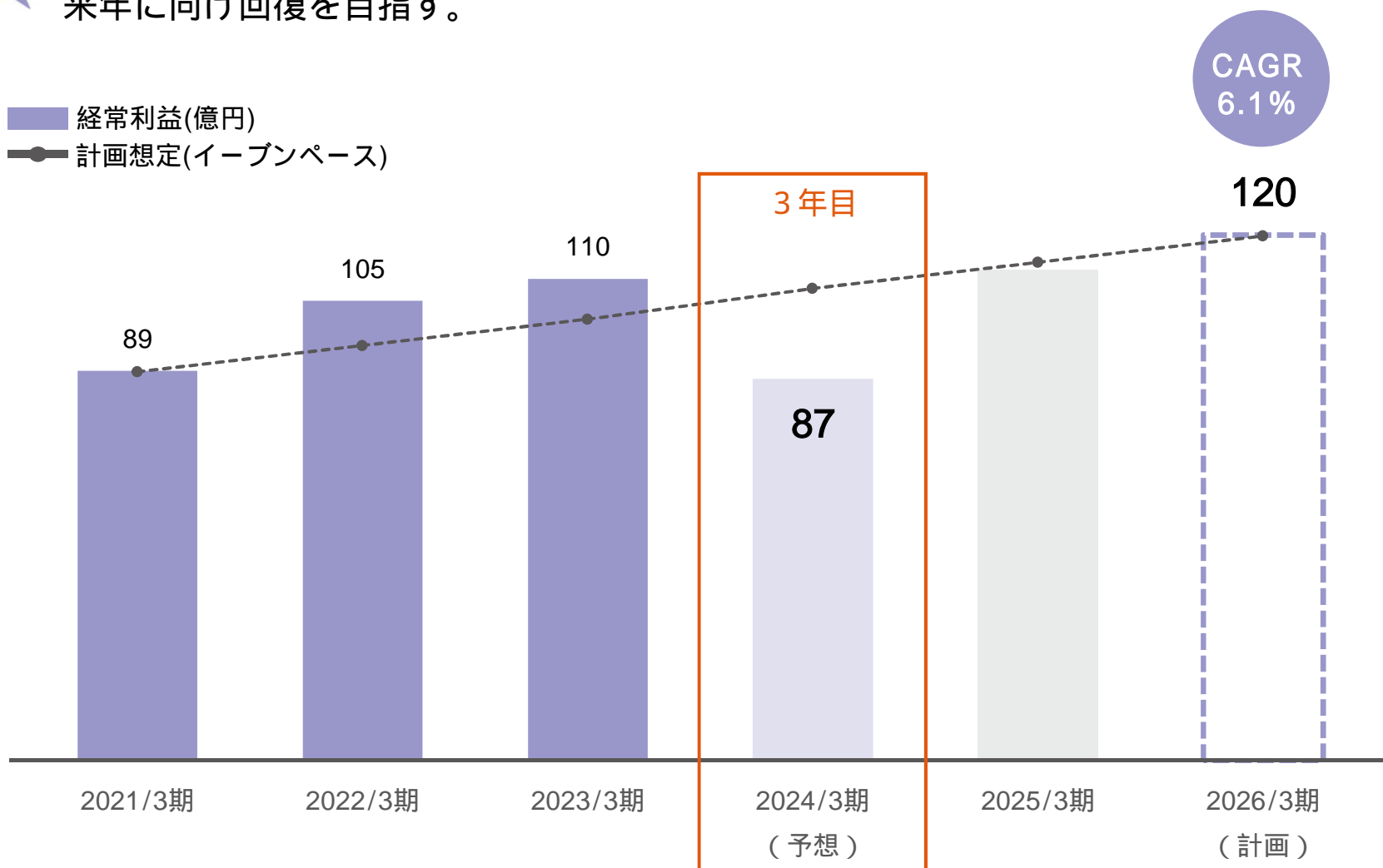
中期経営計画 (売上高) の進捗状況

POINT 好調であった計画 1～2 年目の上積みがなくなり、
計画並みの売上水準に。



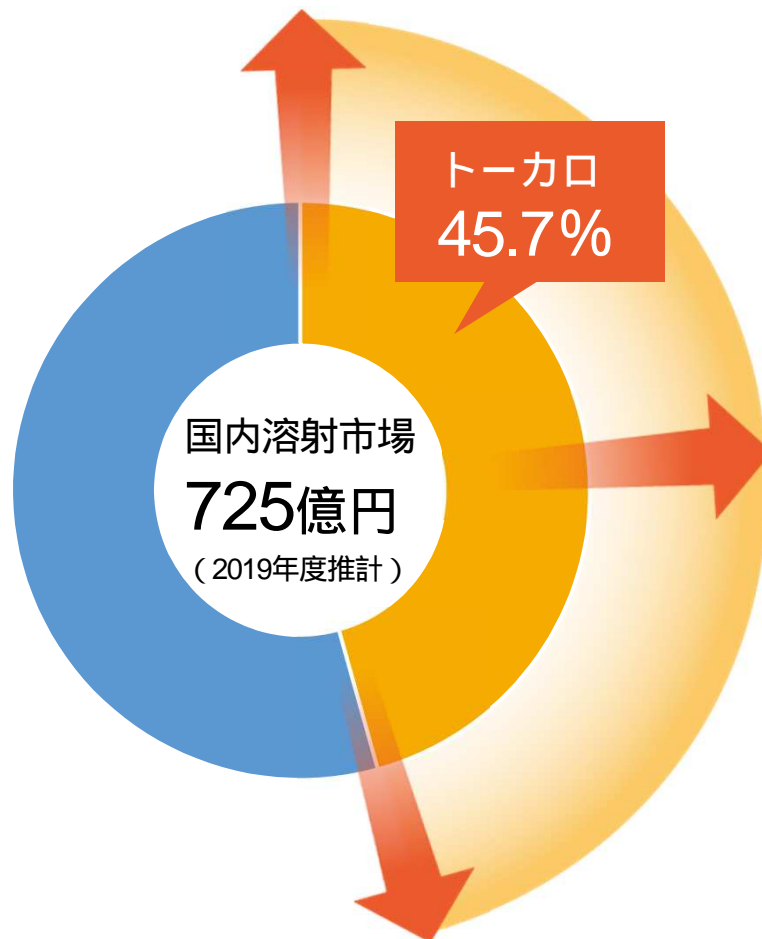
中期経営計画 (経常利益) の進捗状況

POINT 経常利益は、計画の振り出し (2021年3月期) に戻り、
来年に向け回復を目指す。



成長戦略の考え方

溶射のトップメーカーとして、既存市場のパイを取り合うのではなく、新皮膜開発&新市場の創出により、溶射市場の拡大を図っていきます。

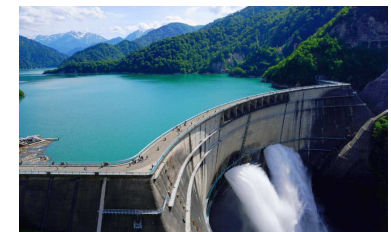


半導体・FPD

- 微細化、多層化、高アスペクト化への対応 (次世代皮膜)

エネルギー

- 風力・水力発電設備の耐久性・発電効率向上
- 脱化石燃料への対策 (水素、アンモニア、バイオマス等)
- 環境ビジネスでの案件創出



素材

- 2次電池部材、燃料電池部材
- リサイクル設備

新事業領域

- 医療用器具
- 農業機械
- 電気自動車 など



来期以降の設備投資について

POINT

神戸工場に新工場棟を建設（決定）

- 用途・目的 半導体・医療分野などの新規受注、増産、生産効率化
- 所在地 神戸市西区見津が丘1丁目16番5（既神戸工場から 450m、用地取得済）
- 工場概要 3階建、延床面積 3,120㎡（建築面積 1,270㎡）
- 建設時期 2024年5月着工、2025年3月竣工予定
- 建設費用 13億円

POINT

北九州工場に新工場棟を建設（検討中）

- 用途・目的 半導体分野の新規受注、増産、生産効率化
- 所在地 福岡県京都郡苅田町鳥越町10（既北九州工場の隣地、当社保有地）
- 工場概要 2階建、延床面積 約7,500㎡（未定）
- 建設時期 2025年2月着工、2026年春竣工、2026年末稼働（未定）
- 建設費用 32億円（未定）

POINT

東京工場の鈴身事業所に新工場棟を建設（検討中）

- 用途・目的 東京工場行田事業所を特定顧客向け増産へ振り向けるため、一部生産の移転
それに加えて、半導体・農業機械分野の新規受注、増産、生産効率化
- 所在地 千葉県船橋市豊富町631-13（既鈴身事業所から 350m、用地取得済）
- 工場概要等は未定（建設・移設等費用は約30億円となる見込み）

経営指標ハイライト

(百万円)	2019/3期 実績	2020/3期 実績	2021/3期 実績	2022/3期 実績	2023/3期 実績	2024/3期 予想
受注高	38,915	38,011	39,021	45,394	48,419	—
受注残高	6,081	6,195	6,143	7,896	8,349	—
売上高	39,742	38,084	39,294	43,813	48,144	47,000
営業利益	7,905	6,727	8,890	10,255	10,558	8,700
経常利益	8,076	6,812	8,914	10,571	11,003	8,700
経常利益率	20.3%	17.9%	22.7%	24.1%	22.9%	18.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	5,441	4,404	5,463	6,909	7,350	5,800
1株当たり当期純利益 (EPS)	89.51円	72.45円	89.86円	113.62円	120.83円	96.70円
総資産	57,278	61,122	64,183	69,517	74,263	74,700
自己資本	37,559	40,263	44,201	49,099	53,839	54,900
自己資本比率	65.6%	65.9%	68.9%	70.6%	72.5%	73.5%
自己資本利益率 (ROE)	15.2%	11.3%	12.9%	14.8%	14.3%	10.7%
総資産経常利益率 (ROA)	14.7%	11.5%	14.2%	15.8%	15.3%	11.7%
投下資本利益率 (ROIC)	13.3%	9.8%	11.9%	13.0%	12.5%	10.0%

(注) ROE = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 期中平均自己資本、ROA = 経常利益 ÷ 期中平均総資産、ROIC = 税引後営業利益 ÷ 期中平均投下資本

売上高及び営業利益は、2022/3期の表示方法の変更（「受取ロイヤリティー等」の計上区分を営業外収益から売上高に変更）を反映した組替え後の数値です。

注意事項

本資料における将来に関する記述は、発表日現在、当社が入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後のさまざまな要因により、実際の業績等はこれら見通しと大きく異なる結果となる可能性があります。

お問い合わせ先

トーカロ株式会社

経営企画部

TEL: 078-303-3433 (代)